

ボランティア通信 2018.3 Vol.215

なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp

Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンター
にお問い合わせください
(☎894-3737)

登録ボランティア交流会

2月18日(日) ゆうゆうセンター多目的ホールで開催



交流会の最後は「ひとりの手」を体操



挨拶をする川下会長



挨拶をする黒田市長



歌体操を指導するHANDのみなさん



来賓・ボランティア140人が集いました



フォルクローレを演奏する六反園幸さん



グループ紹介をする点訳「虹の会」

2月18日(日) ゆうゆうセンター多目的ホールで黒田市長、はじめ社協事務局等4名のご来賓の臨席の下、140人の参加で2年に1度の交流会を開きました。ボランティアグループ連絡会以外のグループから「NALC」「たんぼぼ」のグループの参加を得、各グループの代表から日ごろの活動の報告があり、所属していない他グループの活動を知ることができました。

また、天野が原町在住で演奏ボランティア活動をされている六反園幸さんのフォルクローレの演奏や、実行委員さんのアイデアのゲームのみやげまで当たり、楽しいひと時をすごし、大いに盛り上がりました。

ボランティアインタビュー61 馬場巡さん(陽だまり)



ボランティアとの出会い

テレビなどでボランティア活動や、実際に活動に携わっておられる人々の情報には興味を持っておりましたが、自分自身とはかけ離れたものだという認識でした。しかし、母が老人ホームで5年間お世話になり、感謝の気持ちを持つようになり、自分も何かできることがあるのではと一念発起し、ボランティアセンターの門を叩き、即決しました。

楽しく息の長い活動を

活動を始めたいいろいろな人の出会いで、人生の諸先輩(依頼者)方の話に教えられることが多々あります。先輩方が少しでも楽しい時間が過ごせることと同時に、私自身も共有時間を楽

しく過ごせるように努めています。これからも息の長い活動が続けられればいいと思っています。

笑顔が何より

活動が続けられる原動力は、やはり依頼者の笑顔です。いつも訪問時に笑顔で迎えてくださるので、こちらも明るく接することができ感謝しています。

野菜作りで健康維持

趣味で野菜や果物づくりを楽しんでいます。適度に身体を動かすことで自身の健康維持にもつながり一石二鳥です。

良き日々が過ごせるように

若い時は何も考えずに日々を過ごしていましたが、考えながら行動できるようになればと思っています。4月からはグループのリーダーを仰せつかりました。私には重責ですが、メンバーの協力を頂戴しながら、沢山の活動ができるように頑張りたいと考えています。

リーダー会議(2月27日)

- ☆会長挨拶
- ・登録ボランティア交流会(省略)
- ・指名委員会報告、次年度役員候補者が内定、3月のリーダー会で発表並びに承認を求めます。
- ・大阪府市町村代表者会議&研修交流会報告(2頁参照)
- ☆連絡会より
- ・登録ボランティア交流会について意見交換、同会計報告支出額は71,795円(補助額30,395円)
- ・平成30年度グループ助成金について、申請限度額は昨年通り3万5千円とします。3月のリーダー会までに申請してください
- ・次年度各グループのリーダー・サブリーダーの氏名を3月20日までに提出ください(4月に決定するグループはその旨を事務局までご連絡ください)
- ☆センターより
- ・グループ活動記録について
- ・平成30年度ボランティアグループメンバーの活動確認について
- ・平成30年度依頼書について
- ☆各グループ報告(省略)

編集 後記

近くを通りかかったゴミ回収置き場にはゴミが散らばっていた。今日は「廃プラ」の日。よく見ると袋が破られていて、食べかすがいっぱいについている容器が入っている。上では数匹のガラスが「美味しいよ、美味しいよ」と言っているようにカアカアと鳴いている。

ゴミ出しマニュアルにはフタ・ラベル・シールは剥がして、残りがすや汚れの取れないものは「燃やすゴミ」と書いてあるのだが…。残念に思う。近くの人に声をかけて一緒に掃除をした。逃げることなく、上から様子を伺っている。

カラスは小学校低学年並の知能を持つ賢い野鳥とか。皆さんの所はどうですか? きちんと出されておられると思いますが、ゴミを出す時はお互い気をつけましょうね。

ひまわり



代表者会議&研修交流会

2月19日(月)、大阪府市町村ボランティア連絡会代表者会議&研修交流会が大阪府福祉指導センターで開催された。代表者会議は30市町村56人が出席して、平成29年度の事業中間報告及び同会計中間報告を審議・承認後、ブロック別会議を行い各市町村間での活発な情報交換が行われた。午後からは34市町村110人が参加して研修交流会で、4ブロック(北摂・河北・河南・泉州)からそれぞれ活動事例の紹介とディスカッションが実施された。

研修交流会に4市が発表

- ①和泉市(和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・ロビー」)
- ②寝屋川市(疑似体験グループ・うらしまさん)
- ③茨木市(耳原地区福祉委員会)
- ④柏原市(精神保健ボランティアかしま野の花)



代表者会議における河北のブロック別会議

「アイ・ロビー」の活動は、桃山学院大学のボランティア活動支援室の学生が地域との交流促進に關わっている。「ももやまキッズランド」を立ち上げ、子どもたちの支援を中心に地域と協力しながら活動の輪を広げているのが特徴的だ。「うらしまさん」は、ハンディキヤップのある方に対する気づきと思いやりの心を育てることに軸足を置いた活動として「アイマスク体験・車いす体験・高齢者疑似体験」を市内の小中学生に広める活動をしている。その他、茨木市の古民家を活用した子ども居場所づくりなどが紹介された。

3・4月のボランティアサロン

介護衣料紹介・広報紙作成

ボランティアに関して、知る、学ぶ、交流する会を、毎月ひらいています。

3月は、体の不自由な方が着やすいように、服を改良したり手作りする活動について紹介します。当日は小物づくりの体験もあります。

4月はボランティア会員が編集から配達まで行うボランティアグループ連絡会の広報紙の発行を見学し、さまざまな役割の説明を行います。パソコンやイラストが得意な方、配達のみ参加も大歓迎です。

とき 平成30年3月13日(火)13時~15時
「介護衣料手作り活動見学会」
平成30年4月2日(月)10時~12時
「広報紙作成体験」
※どちらか1回のみ参加可能

ところ 交野市ボランティアセンター
対象 交野市と周辺在住、在勤、在学の方
参加費 無料
申し込み ボランティアセンター

認知症サポーター養成講座 オレミジリングをお持ちですか

認知症は、「老化によるもの忘れ」とは違います。認知症が進行すると、だんだんと理解する力や判断する力が低下して、日常生活に支障が出てくるようになります。

また、いつ「当事者・介護者・支援者」になるとも限りません。もはや傍観者ではいられない状況にあります。自分自身の認知症予防、万が一の場合のサポートづくりなど、基礎知識から関わり方まで、幅広くお話しします。

また、「認知症ケアパス」についてもご紹介します。

とき 3月23日(金) 14時~15時半
ところ ゆうゆうセンター2階
体験学習室・お年寄り健康教室

講師 田中 歩
対象 市民(定員50名)
参加費 無料
主催 交野市社会福祉協議会
(電話 895-1185)

お水取りが終われば春がくる

関西ではお水取りが終われば春が来るといわれてきた。正確には奈良の東大寺二月堂で行なわれる「修二会」で、3月1日から14日まで11人の練行衆による本行があり、12日深夜に「おたいまつ」といわれるクライマックスを迎え、籠松明がたかれ、練行衆は祈りの合間に二月堂下にある若狭井(わかさい)に水をくみに行く儀式である。燃えさかる松明から降り落ちる火の粉が無病息災をもたらすといわれ、多くの参拝客が集まる。久しぶりにお詣りに行こうかと思っているが、まだ寒さが残る3月中旬の深夜となればついつい足が遠のく、早く決断しなければと・・・。(Y記)



障がいのある人々の「第28回春を呼ぶコンサート」 楽しくホットなステージ

2月24日(土)、門真ルミエールホールで催された「第28回春を呼ぶコンサート」に行ってきた。

交野市「くらじワークセンター」の出演を楽しみにしていたのですが、残念ながら体調不良で不参加のアナウンスに皆さんの具合が気になりましたが、一方の

2月24日(土)、門真ルミエールホールで催された「第28回春を呼ぶコンサート」に行ってきた。

交野市「くらじワークセンター」の出演を楽しみにしていたのですが、残念ながら体調不良で不参加のアナウンスに皆さんの具合が気になりましたが、一方の

ミルキーウェイから6人がカラオケに出演、普段より大きな声で素敵な歌4曲を熱唱です。

この日のために練習を重ねてこられた各施設・支援学校等のみなさん、また長い期間準備を進められてこられた職員・指導員の方々の思いが結集した、楽しくホットなステージでした。門真の高校生、民間企業の方々、その他の団体、一般参加者、遠くは滋賀県からなど、沢山のボランティアの協力のおかげとの実行委員長挨拶と、春コンのテーマソング「春に向かって」4番の歌詞の紹介がありました。

五〇年を迎えるわが家の雛人形

ことしも2月中旬に、雛人形を飾ることにした。長女の初節句に飾ってから五〇年になる。長女が結婚してから暫く飾らない時期があったが、

ここ数年は毎年飾るようにしている。人形もやはり少しくたびれてきたようだが、人間的に傷みは少ないようだ。

いずれ何処かに終の住処をと思っているがなかなか良い知恵が浮かばずに至っている。人形も大切だが古い先短いわが夫婦のこともしつかり考えなくては、談笑している場合ではないぞと戒めている次第だ。(T記)



ことしも2月中旬に、雛人形を飾ることにした。長女の初節句に飾ってから五〇年になる。長女が結婚してから暫く飾らない時期があったが、

ここ数年は毎年飾るようにしている。人形もやはり少しくたびれてきたようだが、人間的に傷みは少ないようだ。

いずれ何処かに終の住処をと思っているがなかなか良い知恵が浮かばずに至っている。人形も大切だが古い先短いわが夫婦のこともしつかり考えなくては、談笑している場合ではないぞと戒めている次第だ。(T記)

やっかいな冬の贈り物

インフルエンザが猛威を奮っている。今年の特徴はA型とB型が混在しているという。例年だと1月はA型が主体だが、B型が大半を占めているようだ。地域や感染時期によって違いはあるが、症状では吐き気や腹痛、下痢などの急性胃腸炎のような症状が現れている。インフルエンザは38度以上の高熱が出るが、B型の場合は発熱が低いケースが多く、症状が軽いため普通の風邪と間違っている患者が多いという。もう少しで終息に向かうらしいが、やっかいな冬の贈り物である。罹らないようにしよう。(W記)

みんなの広場

きびしい冬をこえたからこそ春の日差しがまぶしく輝く冬はかならず春になるからほら涙をすてて未来をみつめて歩こう

次回はみなさんも一緒に「春コン」へかけてみませんか、ほのぼのと心温まるステージへ

(H・K記)